

平成28年度第1回野田市学校給食運営委員会

平成28年8月27日(土)
午前10時から
野田市学校給食センター

- 1 開 会
- 2 教育長挨拶
- 3 委員の委嘱
- 4 委員の自己紹介
- 5 学校給食運営委員会の趣旨説明等
 - (1) 学校給食運営委員会設置の経緯
 - (2) 所掌事務等
- 6 議 事
 - (1) 副委員長の選出について
 - (2) 平成27年度の食材費の執行状況について (資料1-1)
 - (3) 給食費の未納状況について (資料1-2)
 - (4) 地産地消の実績について (資料1-3)
 - (5) 放射能検査について (資料1-4)
- 7 会議録等のホームページ掲載について
- 8 その他
 - (1) 北部小・七光台小の親子方式について (資料2-1)
 - (2) 給食食材の安全確保について (資料2-2)
 - (3) 次回開催について (資料2-3)
- 9 閉 会

※野田市学校給食センター 調理棟見学

1 平成27年度の食材費の執行状況について

(1) 平成27年度食材費全体の執行状況

平成27年度の給食にかかった食材費決算額は、約6億8,620万円でした。支出の内訳は、保護者から納入していただいた給食費の約6億6,094万円（未納額263万円を含む。）と、市が補助を行った野田産米補助の約2,263万円です。

野田産米補助については、26年度から、保護者負担をできるだけ抑えるため、過去最高額の2,192万円に固定し、野田産米が安くなった場合でも、野田産米補助総額は変わらず、その差額分を副食費代にあて、副食の充実を図ることとしております。

27年度の野田産米補助は、26年度に執行できなかった約161万円を増額し、約2,353万円（2,192万円+161万円）の予算となりました。

平成27年度の副食代については食材費の値動きがありますので、結果として食材費が約90万円（1校当たり単純平均27,273円、1人当たり年約72円）余りました。

このため、28年9月議会で、野田産米補助を約90万円増額補正させていただき、平成28年度補助額は約2,282万円とさせていただき、副食の充実を図る予定です。

以上のとおり、平成27年度も、保護者の皆様から徴収した給食費を適正に執行いたしました。

【平成27年度】食材費全体予算

給食費	27年度野田産米年間補助額	増額補正 161万円
	2,192万円	
(市の米補助の合計2,353万)		

【平成27年度】食材費全体決算 68,620万円

給食費 66,094万円	未納 市立替 263万円	27年度野田産米年間補助額	余った額 90万円
		2,263万円	
(市の米補助の合計2,353万)			

【平成28年度】食材費全体予算

給食費	28年度野田産米補助額	増額補正 90万円
	2,192万円	
(市の米補助の合計2,282万)		

(2) 平成27年度月別食材費（野田産米補助を除く）執行状況・・・2ページ資料

小中学校別に基準単価（小学校253円、中学校304円）を決定し、その基準単価のプラス・マイナス3%以内にしていくことを基本に、毎月、各施設の賄材料費の執行状況を教育委員会で確認していきながら、適正な執行となるよう必要に応じ指導してまいりました。

また、原発事故の影響による出荷制限等について情報を収集し、安全な食品を調達していくことに注意を払いながら、執行しました。

最終的な年間平均値が、小学校では、基準単価253円のところ、253.66円、中学校では、基準単価304円のところ304.46円となっております。平均値が基準単価を超えておりますが、昨年度の160万円の補正により、不足は生じておりません。90万円の余りとなり、今年度に増額補正いたします。

年間平均値が、基準単価の小学校253円、中学校304円の近似値であることから、小中学校ともに適正に執行できたと考えます。

平成27年度学校別・月別食材費の1食あたり単価（野田産米補助を含まない）単位：円

学校名		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
東部小	単価	257	270	242	250	248	240	242	263	254	273	265	254.92
	割合	1.74	6.55	△ 4.15	△ 1.17	△ 209	△ 5.15	△ 4.21	4.06	0.23	7.72	4.83	0.76
南部小	単価	262	259	247	256	253	241	232	258	236	242	301	253.32
	割合	3.40	2.20	△ 2.25	1.25	0.05	△ 4.81	△ 8.19	2.00	△ 6.70	△ 4.43	18.85	0.13
北部小	単価	253	253	254	248	250	241	248	265	255	265	258	253.50
	割合	△ 0.17	△ 0.02	0.52	△ 2.04	△ 1.06	△ 4.64	△ 2.04	4.61	0.59	4.57	1.86	0.20
福一小	単価	269	272	262	253	251	224	238	268	242	282	259	256.39
	割合	6.42	7.32	3.68	0.11	△ 0.73	△ 11.59	△ 5.78	5.94	△ 4.52	11.50	2.40	1.34
福二小	単価	249	265	251	255	256	251	247	245	244	279	254	254.02
	割合	△ 1.68	4.57	△ 0.62	0.76	1.09	△ 0.92	△ 2.55	△ 3.33	△ 3.51	10.43	0.21	0.40
川間小	単価	248	257	255	257	254	235	246	254	254	267	267	253.83
	割合	△ 1.83	1.57	0.60	1.44	0.41	△ 7.17	△ 2.92	0.34	0.36	5.34	5.45	0.33
山崎小	単価	254	246	254	260	220	237	260	279	259	259	227	250.49
	割合	0.59	△ 2.67	0.38	2.81	△ 12.86	△ 6.19	2.57	10.13	2.35	2.27	△ 10.30	△ 0.99
岩木小	単価	258	255	243	248	244	248	250	253	244	275	267	253.31
	割合	2.07	0.70	△ 3.81	△ 1.95	△ 3.48	△ 1.87	△ 1.11	0.11	△ 3.40	8.53	5.55	0.12
尾崎小	単価	257	259	243	248	256	251	249	259	257	259	253	253.83
	割合	1.76	2.17	△ 3.79	△ 2.10	1.10	△ 0.83	△ 1.65	2.56	1.69	2.55	0.13	0.33
七光台小	単価	249	251	247	248	253	248	260	255	253	264	257	253.10
	割合	△ 1.44	△ 0.89	△ 2.30	△ 1.89	△ 0.11	△ 1.96	2.71	0.65	0.04	4.19	1.46	0.04
二ツ塚小	単価	236	259	245	248	253	235	246	261	261	278	259	252.62
	割合	△ 6.85	2.19	△ 3.29	△ 2.13	△ 0.02	△ 7.08	△ 2.91	3.04	3.32	9.90	2.18	△ 0.15
みずき小	単価	252	251	248	251	248	259	246	252	250	249	272	252.51
	割合	△ 0.34	△ 0.71	△ 1.91	△ 0.93	△ 2.04	2.26	△ 2.66	△ 0.53	△ 1.10	△ 1.47	7.32	△ 0.19
野田センター	単価	248	277	265	256	240	243	242	253	238	252	285	254.43
	割合	△ 2.09	9.34	4.66	1.32	△ 5.25	△ 4.01	△ 4.36	△ 0.03	△ 5.78	△ 0.32	12.75	0.57
関宿センター	単価	249	249	249	257	272	257	252	252	251	246	270	254.92
	割合	△ 1.65	△ 1.58	△ 1.65	1.58	7.35	1.53	△ 0.53	△ 0.21	△ 0.75	△ 2.60	6.85	0.76
単価平均		252.98	258.56	250.48	252.47	249.81	243.53	246.92	258.30	249.90	263.52	263.76	253.66

東部中	単価	300	301	314	294	320	312	304	309	309	292	267	302.01
	割合	△ 1.34	△ 0.89	3.32	△ 3.17	5.21	2.59	0.04	1.66	1.64	△ 3.95	△ 12.30	△ 0.65
南部中	単価	297	311	289	310	308	289	279	309	315	319	315	303.76
	割合	△ 2.42	2.44	△ 5.02	2.12	1.15	△ 4.81	△ 8.15	1.58	3.67	4.99	3.58	△ 0.08
北部中	単価	294	296	299	308	303	310	300	302	314	308	322	304.88
	割合	△ 3.45	△ 2.62	△ 1.60	1.22	△ 0.34	1.89	△ 1.44	△ 0.78	3.13	1.22	5.95	0.29
福田中	単価	302	331	315	304	318	290	265	288	309	310	346	307.04
	割合	△ 0.79	8.79	3.55	△ 0.01	4.61	△ 4.55	△ 12.92	△ 5.19	1.60	2.02	13.90	1.00
川間中	単価	308	297	296	307	301	300	298	310	306	311	312	304.23
	割合	1.41	△ 2.27	△ 2.64	1.14	△ 1.08	△ 1.17	△ 1.82	1.87	0.61	2.24	2.56	0.08
岩名中	単価	305	306	309	314	310	301	305	298	295	296	288	302.52
	割合	0.33	0.72	1.74	3.37	1.92	△ 0.99	0.42	△ 2.04	△ 3.05	△ 2.48	△ 5.29	△ 0.49
野田センター	単価	297	332	318	308	288	291	290	304	286	303	342	305.32
	割合	△ 2.22	9.20	4.52	1.18	△ 5.38	△ 4.13	△ 4.49	△ 0.16	△ 5.90	△ 0.45	12.61	0.43
関宿センター	単価	299	299	299	308	326	308	302	303	301	296	324	305.90
	割合	△ 1.78	△ 1.70	△ 1.78	1.45	7.21	1.39	△ 0.66	△ 0.34	△ 0.88	△ 2.73	6.71	0.63
単価平均		300.10	309.19	304.79	306.77	309.06	300.29	292.97	302.71	304.31	304.33	314.53	304.46

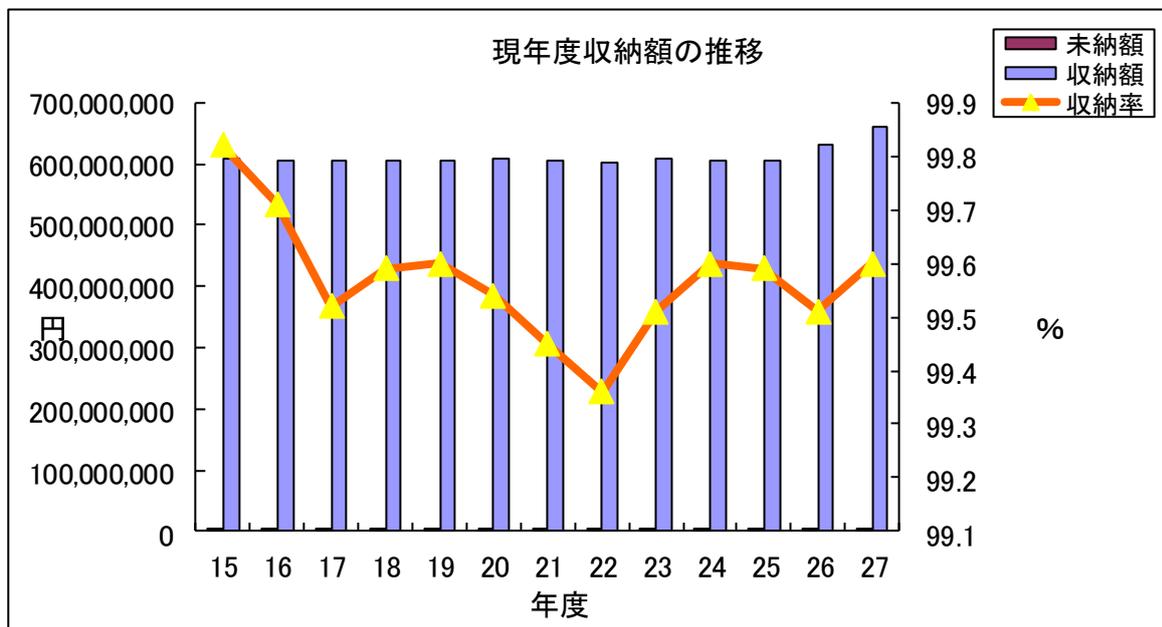
※網掛けは、基準単価（小253円、中304円）の±3%の幅を超えたもの

△は基準単価のマイナスとなったもの

2 給食費の未納状況について

(1) その年に納めるべき分（現年度分）に対する収納額とその割合

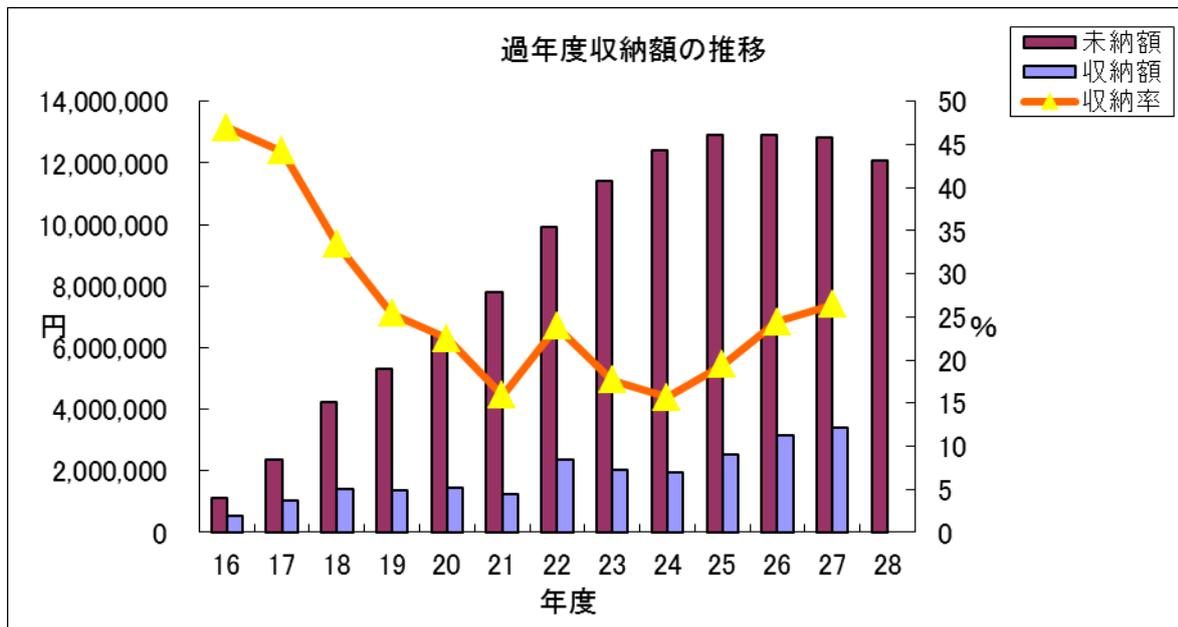
年度	納めるべき給食費 (円)	未納額	収納額(円)	収納率(%)
15	608,281,681	1,103,493	607,178,188	99.82
16	606,913,108	1,775,421	605,137,687	99.71
17	606,199,993	2,900,122	603,299,871	99.52
18	607,316,633	2,502,942	604,813,691	99.59
19	607,191,616	2,459,123	604,732,493	99.60
20	610,889,553	2,807,826	608,081,727	99.54
21	608,452,006	3,363,795	605,088,211	99.45
22	605,374,066	3,875,879	601,498,187	99.36
23	610,091,586	3,005,412	607,086,174	99.51
24	606,526,261	2,455,608	604,070,653	99.60
25	606,797,949	2,496,858	604,301,091	99.59
26	632,577,278	3,098,210	629,479,068	99.51
27	663,570,184	2,634,031	660,936,153	99.60



平成27年度収納率は、前年度に比べ0.09ポイント増加しております。給食費の値上げがあったにもかかわらず、この収納率の増加に関しましては、その年に納めるべき給食費が3か月以上滞納となった場合に児童手当からの引き落としに同意するかどうかの意向を予め伺うこととしたこと、学校の働きかけにより保護者がこの制度を有効に活用したことによるものと分析しております。今年度も、未納の状況を注視し、現年度分の未納が増加しないよう、各学校に協力を依頼してまいります。

(2) 過去に滞納した給食費（過年度分）に対する収納額とその割合

年度	未納件数	未納額(円)	収納額(円)	収納率(%)
16	28件	1,103,493	517,960	46.94
17	78件	2,360,954	1,043,998	44.22
18	182件	4,217,078	1,410,653	33.45
19	217件	5,309,367	1,347,683	25.38
20	258件	6,420,807	1,443,285	22.48
21	338件	7,785,348	1,240,125	15.93
22	393件	9,909,018	2,367,122	23.89
23	431件	11,417,775	2,019,426	17.69
24	399件	12,403,761	1,944,351	15.68
25	296件	12,915,018	2,516,665	19.49
26	310件	12,895,211	3,148,428	24.42
27	313件	12,844,993	3,392,062	26.41
28	312件	12,086,962		



平成27年度の収納額は前年度と比較し収納率で約2.0ポイント、金額にして約24万円増加しました。また、平成27年度の収納額が、新たに発生した未納額を76万円上回ったことから、28年度初めに繰り越された未納額は減少しております。

毎年、新しく発生した滞納額は、次の年度初めには過年に滞納した給食費として加算されますので、各学校の給食費担当者との連絡を密にし、児童手当からの引き落としを有効に活用することで、在学中から少しでも未納者及び未納額が減るように、働きかけを続けます。また、卒業後は学校教育課が、臨戸徴収や督促状の送付を引き続き行います。

(3) 給食申込書について

学校給食検討委員会の意見に基づき、平成22年度より「学校給食申込書」の配布・回収を実施しております。

学校給食申込書は、教育委員会は安全・安心で栄養価を確保したおいしい給食を提供すること、保護者は給食費を確実に納入することを相互に約束することを目的としたものです。

また、平成27年度からは、給食申込書に3か月以上未納となった場合は児童手当等からの徴収に同意するかどうかの意向をあらかじめ伺う（同意いただけない場合は理由も書いていただく）ことを加筆しており、その年に納めるべき給食費の収納率が良くなり、滞納額が減少したことから、効果があると考えております。

平成28年8月8日現在（在籍者数12,451人）、宗教やアレルギー等による弁当持参（21人）、長期欠席者等（22人）を除く、給食実施者数12,408人のうち、12,406人より給食申込書の提出がありました。提出率は99.98%となっております。未提出の1世帯（2名）については、家庭訪問を行い提出依頼をしています。

(4) 平成28年度の収納対策

ア 学校での取組（各校の状況に応じて、随時実施）

- ・保護者会等での説明
- ・学校及び学年便りを通じた依頼
- ・保護者への電話及び手紙での督促
- ・学級担任等による家庭訪問
- ・小中学校間の情報交換
- ・集金方法の工夫（手集金）

中央小、宮崎小、柳沢小、みずき小、第一中、第二中、東部中、川間中、木間ヶ瀬中、二川中（4・5月のみ）の10校で実施。

- ・3か月以上未納の場合、児童手当から直接引き落とす申出書の提出の依頼

イ 市教委での取組

- ・給食申込みの実施（4月）
- ・夜間、土、日曜日の電話による督促（随時）
- ・臨戸徴収の実施（6月下旬、11月下旬、2月頃、その他随時）
- ・督促文書の発送（10月下旬、12月下旬等）
- ・法的措置の実施

(5) 児童手当からの引き落としによる滞納給食費の徴収について

児童手当法が改正され、法第22条の3（申し出による徴収）で、未納分の給食費に関し、受給者の申し出により滞納給食費を児童手当から引き落としができるようになりました。徴収範囲は3か月以上滞納した未納分に限り、児童手当対象者だけでなく、対象者の兄弟の手当からも徴収可能となります。

平成27年度は34件の申し出を受け、149万2,364円（平成26年度133万4,824円）が徴収済みとなりました。

平成28年度は、5、6月の児童手当から引き落としで、78万8,260円が徴収済みとなり、この後、今年度中に61万8,615円が徴収予定となっております。

更に、平成29年度以降には、64万9,262円が児童手当より引き落としとなる申出書を既にいただいております。

(6) 悪質滞納者に対する法的措置

市では、悪質な滞納者について、裁判所による支払督促申立ての実施も視野に入れた取組を進めております。

【支払督促対象者】

平成27年度末までの過年度分として、148世帯で約945万円の滞納があります。世帯数を単位として、この滞納額を区分すると次表のとおりとなります。

滞納額区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
1円以上 ～ 10,000円未満	18	23	33
10,000円 ～ 50,000円	70	64	65
50,000円 ～ 100,000円	39	41	33
100,000円 ～ 200,000円	13	15	24
200,000円 ～ 300,000円	3	6	7
300,000円以上	5	3	3
合計	148	152	165

このうち、裁判所による支払督促申立ての対象とする悪質な滞納者については、原則として次の事項全てに該当する者としております。

- ア 滞納額が10万円以上の者
 - イ 催告書等の送付、臨戸等による納付指導及び通告書の送付にもかかわらず、前年度及び現年度において、過年度分滞納金の納付も納付誓約書等の提出もない者、又は、納付誓約書を提出したにもかかわらず、履行しない者
 - ウ 前年度分給食費において、納めるべき金額の半分以上が未納となっている者
 - エ 野田市に住民登録があり、現に居住していることが確認できる者（滞納者の住所地の裁判所の管轄となるため）
- ※ ただし、長期疾病や不慮の災害、昨年度又は今年度において、生活保護又は準要保護の適用を受けた者、その他やむを得ない特別の事情があると認められる場合は、裁判所による支払督促申立ての対象としないことができるものとする。

※平成27年度当初28世帯が滞納額10万円以上でしたが、平成27年度中に全納若しくは部分納付をした世帯が18世帯、ウに該当しない世帯が1世帯、エに該当しない世帯（市外在住）が6世帯となります。また、残りの3世帯につきましては※印に該当し、生活保護世帯及び準要保護世帯により支払督促申立の対象といたしません。

よって、平成27年度につきましては、裁判所による支払督促申立ては実施しないこととしました。本年度についても、法的手段は最後の手段とし、悪質滞納者が一人も出ないよう働きかけを行います。

対応状況	該当世帯数 (28世帯)
平成27年度中に全納若しくは部分納付を行った	18世帯
野田市に住民登録がない	6世帯
前年度分給食費において納めるべき金額の半分以上納付した	1世帯
生活保護・準要保護の適用を受けた	3世帯

3 地産地消の実績について

(1) 野田産ブランド米の導入

米飯給食については、平成22年10月1日から、学校給食会を經由せずに直接「ちば東葛農協」から、黒酢を使って生産した特別栽培米の「黒酢米」及び有機肥料・減農薬で生産した「江川米」を購入し、より安全安心で低価格な米飯給食を実施しております。平成28年度の新米に関しましても、平成27年度と同様に、県の放射性物質検査の結果を待って、「ちば東葛農協」より購入し学校給食に使用していきます。

(2) 地元農家から学校給食への野菜の供給

学校や地域の実態に応じて、地元産の野菜の活用を進めているところです。

平成27年度の年間購入量については、表のとおりです。

平成27年度には、地元農家から納入する学校が増えました。また、野田市学校給食センター及び関宿学校給食センターと4Hクラブで打合せを行い、納品する野菜の種類を増やしたため、全体の購入量も増加しました。

教育委員会としましては、更なる各農家への直接的な働きかけの強化及び担当栄養士への意識向上を図り、地元農作物による地産地消を推進してまいりたいと考えております。

平成26年度・27年度の地元農家からの購入状況 (単位：kg)

	販売者 (敬称略)	購入施設	年間購入量		納入品目例
			26年度	27年度	
1	北農クラブ (五木)	北部小、岩木小 七光台小、北部中 川間中、岩名中	17,029	16,342	ほうれん草・小松菜・キャベツ・ジャガイモ・キュウリ・生姜・玉葱・人参・ナス・枝豆
2	石山 光男 (木野崎)	南部小、福一小 山崎小、ニツ塚小 みずき小、南部中 福田中	4,664	4,021	ほうれん草 ネギ
3	遠藤 農園 (鶴奉)	東部小、東部中 川間小、尾崎小、 南部中	7,111	11,380	ほうれん草 小松菜・枝豆
4	金剛寺みち子 (西三ヶ尾)	福二小	425	327	白菜・小松菜・枝豆・ナス・ キュウリ・とうもろこし・トマト キャベツ・ジャガイモ・玉ねぎ
5	根本 とみ (三ツ堀)	東部小、福一小 ニツ塚小	375	230	白菜・小松菜・長ネギ キャベツ・ジャガイモ
6	篠崎 達夫 (鶴奉)	東部小	7	9	三つ葉
7	4Hクラブ (鶴奉)(岡田) (三ヶ尾)(船形) (木間ヶ瀬)	野田セター 関宿セター	2,519	14,067	ほうれん草・大根・人参・ キュウリ・トマト・ナス・ キャベツ・長ネギ・白菜
8	池澤 宣久 (木間ヶ瀬)	川間小 尾崎小	—	85	ほうれん草 トマト・きゅうり
9	池澤 利夫 (木間ヶ瀬)	尾崎小	—	22	小松菜
	計		32,130	46,483	

4 放射能検査について

(1) 基本的な考え方及び放射性物質検査について

学校給食では、市場に流通している安全な食材の使用を基本としながら、各調理場の担当者や市教育委員会が、国や県のホームページ等で出荷制限情報等を注意深く確認し、納品の際、産地等の確認と記録を行っております。さらに調理についても、薬物については水洗い、根菜については皮をむく等きめ細やかな対応を図っています。

学校教育課では、平成23年12月からは、保護者の皆様の安心をより得るため、市場に流通している食品も含めた全食材の中から最大5品目の「調理前給食食材検査」と5食の「調理後給食1食丸ごと検査」（調理後の給食1食分をミキサーにかけて検査）を毎週実施しています。

平成24年6月から、消費者庁より放射性物質検査機器1台の貸与があり、9月にもう1台の貸与を受け、現在は調理前食材検査及び調理後給食1食丸ごと検査について、各施設あたり調理前食材検査が週2.2回、調理後1食丸ごと検査が1.6回実施しております。検査の結果につきましては、市のホームページに掲載しております。また、各学校、センターから給食だより等で、検査の結果をお知らせしております。

【結果例：市ホームページ一部抜粋より】

①調理前給食食材検査

(単位：ベクレル/キログラム)

検査日	品目	産地	調理場名	使用日	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
7/15	さんま開き	北海道他	南部小	7/19	検出せず (11.6未満)	検出せず (10.1未満)
7/15	玉ねぎ	佐賀	北部小	7/19	検出せず (10.9未満)	検出せず (12.1未満)
7/15	じゃがいも	茨城	川間小	9/2	検出せず (10.8未満)	検出せず (12.1未満)

②調理後給食1食まるごと検査

(単位：ベクレル/キログラム)

検査日	調理場名	献立	給 養 日	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
7/15	東部小	和風たんめん、牛乳、米粉の蒸しパン、ビーンズサラダ、いりこナッツ、オレンジ	7/15	検出せず (11.6未満)	検出せず (9.2未満)
7/15	岩木小	ご飯、牛乳、カレー肉じゃが、えのきの味噌汁、梅じゃこふりかけ、フルーツ白玉	7/13	検出せず (12.0未満)	検出せず (11.2未満)
7/15	尾崎小	冷やし中華、牛乳、モロヘイヤ卵スープ、いかとごぼうのかりんとう、こだまれいか	7/13	検出せず (12.8未満)	検出せず (11.7未満)

※新たな基準値では、放射性ヨウ素の測定は不要となりました。

※検査結果の「検出せず」とは、「測定下限値未満」であることを表示しています。

※新基準値 (4月1日から適用)

	飲料水	牛乳	乳児用食品	一般食品
放射性セシウム 134 と 137 の合計	10 Bq/kg	50 Bq/kg	50 Bq/kg	100 Bq/kg

(2) 平成27年度近隣市の検体数及び検査の状況について

	区分	H27年度 検体数	過去の見直し状況	H29以降の予定
柏市	食材	214 ※保育所は 実施なし	—	《縮小を検討中》 ・H29に検査回数の減らすことを考えている。 ・まるごとは40%減、食材は出荷制限等手厚く検査すべき食材のみにするよう検討中
	まるごと	312		
松戸市	食材	36	H27:測定回数の減 2週間に1回 →学期に1回	《未定・検討中》 ・H27に縮小したため、28年度は現体制を継続する。 ・H29以降の方針も具体的に決まっていない。
	まるごと	252		
流山市	食材	586	—	《継続予定》 ・現段階ではH29以降も継続予定
	まるごと	188		
我孫子市	食材	729	H26:検体数減 100→65検体/月	《継続予定》 ・現段階では継続予定。
	まるごと	979 H28実施無	H27:終了	
鎌ヶ谷市	食材	—	H26:終了	《未定・検討中》 ・28年度に半減していることから、現段階では29年度以降は未定。
	まるごと	6	H28:測定回数を半減 1施設6回→3回	
野田市	食材	1585	—	《未定・検討中》
	まるごと	1153	—	

【野田市の平成27年度実績】

①「調理後給食1食丸ごと検査」

野田市を含む近隣6市の中で最多 1, 153検体

野田市を除く近隣5市の平均の3.3倍の検査を実施。(平均347検体)

※H28年度は5市が実施。(1市がH27年度で終了)

②「調理前給食食材検査」

野田市を含む近隣6市の中で最多 1, 585検体

野田市を除く近隣5市の平均の5.1倍の検査を実施。(平均313検体)

※H28年度は5市が実施。

(3) 今後の学校給食放射性物質検査について

他市においても、学校給食放射性物質検査により、給食の安全が担保されていることや、検査費用及び検査業務の負担軽減を図る狙いから、検査業務の縮小が検討されております。そのため、本市におきましても次の方法で取り組みたいと考えております。

① まるごと検査を終了し、食材検査のみ実施する。

理由：・野田市を含む6市で、今までの検査において、まるごと検査は検出下限値をこえて検出されたことはない。

・県の学校給食安心対策事業において、検出下限値が1ベクレル未満でも、検出されなかった。また、柏市、鎌ヶ谷市においてはゲルマニウム半導体検出器(1ベクレル未満まで)を使用し、検査しているが検出なし。

②食材検査について

- ・今までの検査では、保護者の安心をより得るため、検査する食材については、使用量が多く市場に流通している食材も検査を行っていたが、市場に流通している食品は安全であることから、今後は次の食材としたい。

・市場に流通していない地場産食材（平成28年4月1日現在）

【学校給食農家登録をしている食材約14種類（季節や年度により変動）】

みつば、長ネギ、ほうれん草、人参、大根、枝豆、じゃがいも、きゅうり、なす、
トマト、里芋、白菜、玉ネギ、小松菜 等

・原子力災害対策特別設置法に基づく出荷制限等のある食材

【給食で使用する可能性がある食材14種類】平成28年6月24日現在

ほうれん草、小松菜、ブロッコリー、カリフラワー、カブ、たけのこ、くり
しいたけ（原木）、ナメコ（原木）、フキ、ゼンマイ、ワラビ、ユズ、キウイ

・学校菜園等で収穫した食材（臨時）

③放射性物質検査の検体数について

食材を限定することで、年間検体数を1,585検体から約600検体に縮小

※地場産食材の年間検体数（産直農家の出荷計画）：約292検体

※出荷制限のある食材の年間検体数：約308検体

市場に流通していない地場産食材と原子力災害対策特別設置法に基づく出荷制限等のある食材を、月2回ずつ隔週で検査を実施する。

※近隣市の平均313検体の1.92倍

資料 2

1 北部小、七光台小の親子方式について

平成23年度より実施している、北部小の給食の一部を七光台小で調理し、北部小に配送する親子方式ですが、平成28年度は3年生3学級分について実施しております。配送時間につきましては、予定の20分以内に配送できており、保温性の高い容器の使用もあり、温かい状態で提供できております。今後も安全で安心な給食の提供に努力していきます。

2 給食食材の安全性確保について

〈野田産の米について〉

市では、県・関係団体と協力して平成27年産米を、8月11日に放射性物質の検査1か所を調査した結果、基準値の100ベクレル/キログラム以下を下回り、出荷・販売・譲渡・贈答の自粛が解除され安全が確認できました。学校給食におきましても10月より、新米を使用しております。

また、市では、より安全を確認するためJAちば東葛と協力し、JA各支店ごとに検査を実施する予定です。検査結果は市のホームページなどでお知らせします。

【結果：県のホームページより抜粋】

検体の検査結果

単位：ベクレル/キログラム

1	今上 (旧梅郷村)	8月11日	検出せず (3.0未満)	検出せず (3.1未満)	検出せず
---	-----------	-------	-----------------	-----------------	------

※検査結果の「検出せず」とは、「測定下限値未満」であることを表示しています。

【結果例：市ホームページより一部抜粋】

番号	検査日	採取日	品目	栽培状況	地域	放射性セシウム134	放射性セシウム137
310	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	北部	検出せず (6.82未満)	検出せず (6.20未満)
309	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	北部	検出せず (6.83未満)	検出せず (6.22未満)
308	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	北部	検出せず (6.81未満)	検出せず (6.20未満)
307	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	中部	検出せず (6.64未満)	検出せず (6.04未満)
306	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	中部	検出せず (6.84未満)	検出せず (6.22未満)
305	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	中部	検出せず (6.96未満)	検出せず (6.33未満)
304	平成27年11月13日	平成27年11月11日	米	露地	中部	検出せず (6.98未満)	検出せず (6.34未満)
303	平成27年	平成27年	米	露地	中部	検出せず	検出せず

番号	検査日	採取日	品目	栽培状況	地域	放射性セシウム134	放射性セシウム137
	11月13日	11月11日				(6.98 未満)	(6.34 未満)
302	平成27年 11月13日	平成27年 11月11日	米	露地	南部	検出せず (6.64 未満)	検出せず (6.04 未満)

〈牛乳について〉

野田市の学校給食用として、雪印メグミルク株式会社野田工場より納品しております。原乳のほとんどは千葉県産で、不足分は他県産のものを使用しています。雪印メグミルク株式会社では、酪農農業協同組合や生産者団体または行政から測定したデータを収集し、安全を確認しています。また、雪印メグミルク株式会社は自社内の分析センターで原乳受け入れ時に検査も行っています。

〈野菜について〉

市内産農産物に関しては県、市農政課が検査を実施し、安全を確認しています。また、給食調理場において、3回以上洗浄を行い、根菜類は皮をむいて調理いたします。

3 次回開催について

第2回野田市給食運営委員会

期日：平成29年1月28日（土）を開催予定

内容：平成28年度の食材費の執行状況について、
江川米と発芽玄米の試食等（予定）

場所：コウノトリの里 レクチャールーム